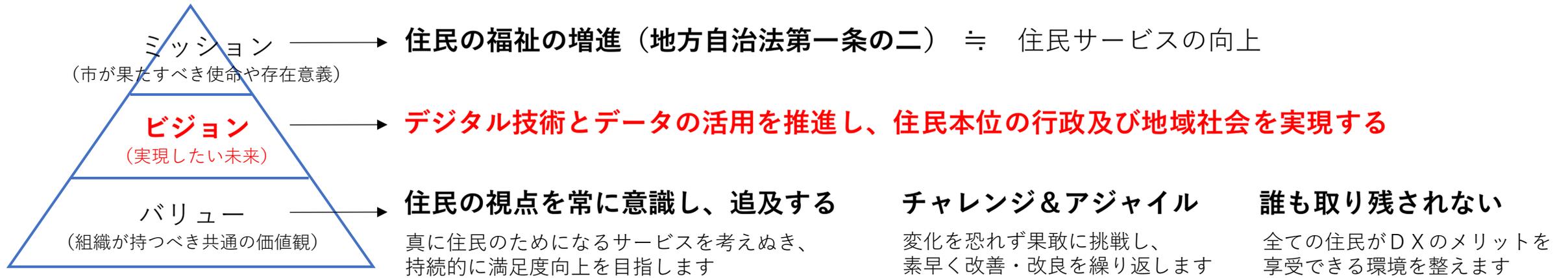


# DXの実践

# 前橋市DX（デジタルトランスフォーメーション）推進計画の概要

- DXは、単なる新技術の導入ではなく、デジタル化を手段として変革を進めること
- ミッション（使命）・ビジョン（未来像）・バリュー（共通価値）を定義し、3つの柱と8つの重点事業のもと、着実に歩みを進めていくことを目指す。計画期間は5年間（2021年4月～2026年3月）。



## 3つの柱と8つの重点事業

### 1 住民の利便性向上

- (1)行政手続のオンライン化
- (2)マイナンバーカードの普及・活用
- (3)情報システムの全体最適化

### 2 新たな価値創造

- (1)官民データ活用の推進
- (2)市役所のDX推進
- (3)地域社会のDX推進

### 3 すべての住民に

- (1)デジタルディバイドの解消
- (2)デジタルインフラの整備

## 庁内横断的なWG活動を通じた事業推進

DX推進計画重点事業	WG名	内容
1 行政手続のオンライン化	①貸館予約システムWG	貸館予約システムの導入（中央公民館におけるシステム利用促進、中央公民館以外の施設への横展開、キーレスの導入検討）
	②BPR推進WG	・処理件数が多く利便性向上や業務効率化効果が高い手続、本人確認が不要な手続から優先的に実施 ・オンラインを前提としたルール整備と業務プロセスの見直しを行う
3 情報システムの全体最適化 5 市役所のDX推進		
	③ミライズWG	職員でなければできない企画立案業務や住民への直接的なサービス提供に注力できる環境づくり
2 マイナンバーカードの普及・活用 8 デジタルインフラの整備	④マイナンバーカード活用・普及WG	・未申請者へのアプローチ及び利活用サービス周知 ・新たな利活用サービスの追加、機能拡充
7 デジタルデバイドの解消	⑤デジタルデバイド解消WG	まえばしデジタルサポーター制度の充実
4 官民データ活用の推進 6 地域社会のDX推進	⑥地域社会のDX推進WG	官民の相互連携を前提とした市役所及び地域のデータ整備・活用を推進（オープンデータの推進、地域アーカイブの推進）

## 取り組みの拡充（DX-WG推進室の設置）

DX推進計画重点事業	WG名	内容
1 行政手続のオンライン化	①貸館予約システムWG	貸館予約システムの導入（中央公民館におけるシステム利用促進、中央公民館以外の施設への横展開、キーレスの導入検討）
	②BPR推進WG	・処理件数が多く利便性向上や業務効率化効果が高い手続、本人確認が不要な手続から優先的に実施 ・オンラインを前提としたルール整備と業務プロセスの見直しを行う
3 情報システムの全体最適化 5 市役所のDX推進		
	③ミライズWG	職員でなければできない企画立案業務や住民への直接的なサービス提供に注力できる環境づくり
2 マイナンバーカードの普及・活用 8 デジタルインフラの整備	④マイナンバーカード活用・普及WG	・未申請者へのアプローチ及び利活用サービス周知 ・新たな利活用サービスの追加、機能拡充
7 デジタルデバイドの解消	⑤デジタルデバイド解消WG	まえばしデジタルサポーター制度の充実
4 官民データ活用の推進 6 地域社会のDX推進	⑥地域社会のDX推進WG	官民の相互連携を前提とした市役所及び地域のデータ整備・活用を推進（オープンデータの推進、地域アーカイブの推進）

# 注力領域と活動内容

## 3つの注力領域

①

BPR推進WG



BPR整理シートに基づく  
グループ活動と伴走支援

②

個別相談受付



業務改善や各種ツールの  
使い方に関する相談受付

③

情報・ナレッジ共有



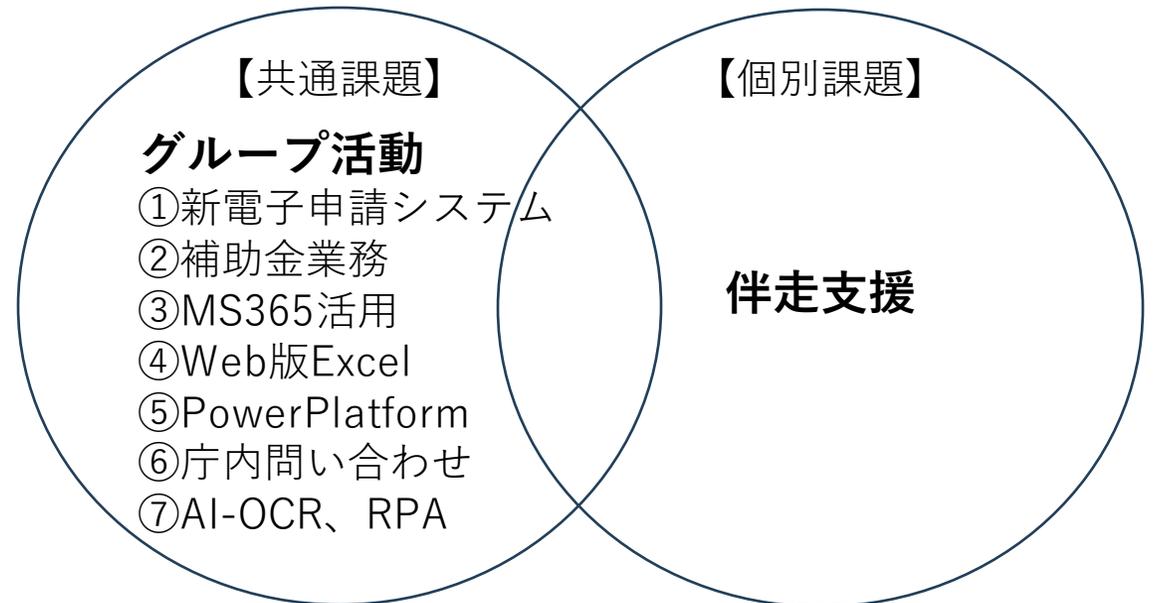
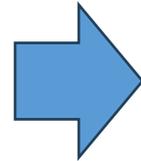
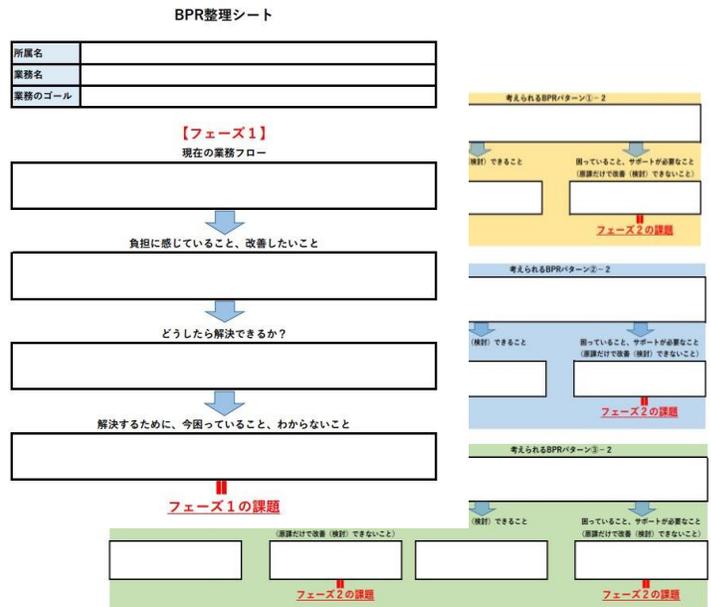
困り事の解決に役立つ  
実践事例やアイデアを  
発信・共有

※各取組の詳細は、別途通知等予定

# ①BPR推進WG

## 【活動内容】 BPR整理シートに基づくグループ活動と伴走支援

- ・ R5年度に各所属から提出していただいた「BPR整理シート」の内容に基づき、庁内の共通課題は「グループ活動」、個別具体の課題は「伴走支援」で解決を目指します。
- ・ グループ活動は、テーマに応じた7つのグループ編成で活動します。異なる部門や所属が協力することで、知識・ノウハウの相互共有やアイデア創出が期待されます。
- ・ 伴走支援は、DX-WG推進室と協働で、対象業務のプロセス全体を見直し再構築を検討します。  
(DX-WG推進室が順次対象課を訪問します)
- ・ グループ活動、伴走支援ともに、6月以降順次実施します。



## 【関連】新電子申請システムの運用開始について

### 【前提】

- ・ 現行の電子申請システム（e-tumo）の利用期限は、2024年8月末まで
- ・ 新たな電子申請システム（Logoフォーム）の利用は、5月29日から開始

### 【今後の進め方】 利用開始までの支援

#### ①全所属

- ・ 必要なアカウント情報やマニュアルを提供するとともに、研修会を実施します（6・7月予定）
- ・ 定期的な作成会の開催します（毎月1回程度予定）

#### ②BPR推進WG（新電子申請システムグループ）

- ・ 対象業務の申請フォーム作成を支援します
- ・ 実装にあたって直面した障壁やそれを解決するノウハウを整理し、庁内に広く展開していくためのルールブック等を作成します

### 【スケジュール（予定）】

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全所属	●アカウント情報、マニュアル配付 ●研修会	●研修会	●作成会	●作成会	●作成会	●作成会	●作成会	●作成会	●作成会	●作成会
			●現行システム（e-tumo）の利用終了							
BPR推進WG	●申請フォーム作成 ●ルールブック作成、横展開								●成果報告	

## 【関連】 伴走支援のイメージ

令和5年度の実践例（資産税課：償却資産申告書審査業務）

### 【業務概要】

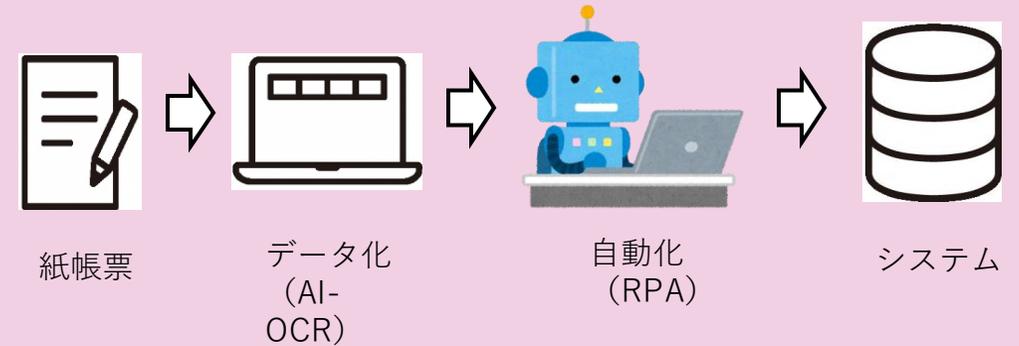
- ・ 申告件数は13,000件以上、申告される資産件数は約300,000件
- ・ 1月から申告が始まり、3月上旬までの業務完了が必須
- ・ 受付入力、申告内容審査、システム登録、二次チェックを行う

### Before (BPR前)



- ・ 大量の「紙」の申告書を「目視」と「手入力」で処理

### After (BPR後)



- ・ 「紙」の申告書を「データ化」(AI-OCR)
- ・ 「目視・手入力」を「自動化」(RPA)

# BPRによる成果 超過勤務時間の縮減

## 成果

1,028時間 → 286時間 **72% (742時間) を縮減**

償却資産係 年度別 超過勤務状況

(平日)

超過勤務 (時:分)	1月	2月	3月	時間合計
令和2年度	257時間47分	371時間04分	106時間58分	735時間49分
令和3年度	91時間08分	345時間51分	49時間32分	486時間31分
令和4年度	2時間17分	266時間47分	16時間30分	285時間34分
<b>合計</b>	<b>▲255時間22分</b>	<b>▲104時間17分</b>	<b>▲90時間28分</b>	<b>▲450時間07分</b>

(土日)

土日 (日:延べ人数)	1月	2月	3月	合計	時間合計
令和2年度	1日:8人	5日:40人	0	6日:48人	291時間37分
令和3年度	0	0	0	0	0
令和4年度	0	0	0	0	0
<b>合計</b>	<b>▲1日:8人</b>	<b>▲5日:40人</b>	<b>0人</b>	<b>▲6日:48人</b>	<b>▲291時間37分</b>

## 上半期の予定

- ・ 伴走支援は、DX-WG推進室と協働で、対象業務のプロセス全体を見直し再構築を検討します。
- ・ R6年度上半期は、対象業務において、「新電子申請システム」及び「AI-OCR・RPA」の活用比重が高いと想定する以下所属への訪問を予定します。  
※詳細は、各所属のBPR推進WGメンバー（DX推進員）あてに別途ご連絡します。

### 【新電子申請システム】

共生社会推進課、スポーツ課、保健総務課、指導監査課、環境政策課、廃棄物対策課、下水道整備課、予防課、救急課、中央消防署、文化財保護課

### 【AI-OCR・RPA】

市民協働課、介護保険課、こども支援課、健康増進課、国民健康保険課、建築指導課、学務管理課、学校教育課

本取組は、これまでの経験や成功事例を基に進めるのではなく、新たなアプローチや手法を探りながら、効果的な方法を見つけ出していきます。また、デジタルツールだけでなく、制度（運用）や風土の課題や障害に直面することも予想されます。

共通の目標達成に向かって、協働しながら進めていくことが重要であると考えておりますので、各所属のご理解・ご協力をお願いいたします。

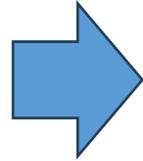
## ②個別相談受付

### 【活動内容】

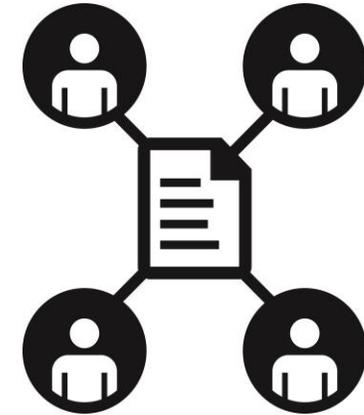
- ・業務改善（BPR）の相談や各種デジタルツールの使い方に関する質問について、専用フォームから受け付けます
- ・類似する課題や疑問が効率的に解決できるよう、相談への対応履歴や質問への回答はリスト形式で随時公開、更新します
- ・なお、個別相談受付は、6月4日から開始予定



専用フォームから  
相談・質問



DX-WG推進室と協働し  
業務改善（BPR）

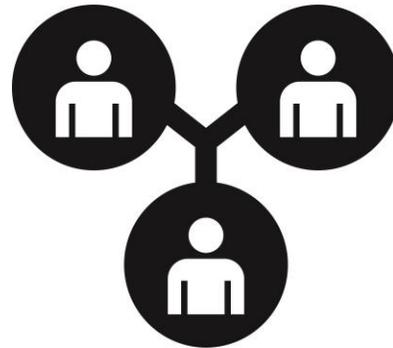
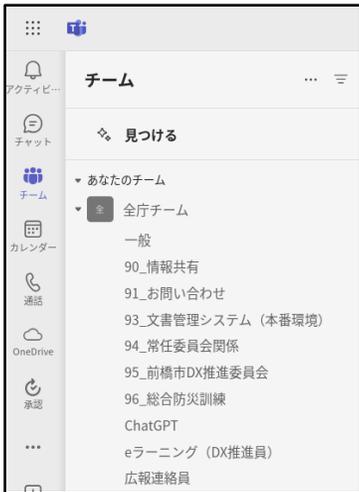


対応履歴や質問回答は  
リスト形式で共有

### ③情報発信・ナレッジ共有

#### 【活動内容】

- ・ 前述の①BPR推進WG、②個別相談受付の内容を中心に、困り事の解決に役立つ実践事例やアイデアを発信・共有します
- ・ 庁内におけるコミュニケーションの効率化やコラボレーションの促進を図ります  
(職員みんなで協働し、利便性向上や価値創出に向かって、ともに磨き上げていく)



コミュニケーションの効率化  
・  
コラボレーションの促進

